

(令和6年度)
自己評価書

| | |
|-----|--------|
| 園番号 | 園名 |
| 615 | 富雄北幼稚園 |

615富雄北幼稚園

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 具体的評価項目及び指標 | 取組と成果 | 評価 | 評価の観点・理由 | 課題及び改善方策 |
|-----------------------|-------------------|--|--|---|--|--|---|
| I 教育・保育活動に関するもの | (1) 教育・保育目標/計画 | ① 教育・保育目標の設定 | ・園児の実態から教育目標を設定する。 ・教育計画、教育課程については、全職員で意見を出し合い編成する。 ・保護者アンケートや評議員の評価などから次年度の教育活動の見直しを行う。 | ・園児の実態から教育目標を設定する。 ・教育計画、教育課程については、全職員で意見を出し合い編成する。 ・保護者アンケートや評議員の評価などから次年度の教育活動の見直しを行う。 | B | ・教育目標を達成するための職員研修や園内研修を実施することで子どもの成長につながった。 ・保護者アンケートでは、高評価をいただいた。 | ・今年度の課題を明確にし、子どもの実態に即した教育目標、教育計画、教育課程を作成の検討をしていく。 ・教育目標や園児の姿をより具体的に伝えることを大切にし、幼稚園教育の理解に繋げたい。 |
| | | ② 教育・保育計画の作成 | | | A | | |
| | | ③ 教育課程/全体的な計画の編成 | | | A | | |
| | | ④ 教育・保育活動の評価 | | | A | | |
| | (2) 教育・保育内容/指導 | ① 指導計画の立案 | ・教育要領や奈良市立こども園カリキュラムに基づき、指導計画を立案する。 ・研修や毎月の会議、週末の振り返りを行い、保育内容や指導方法・環境構成について情報共有し進める。 | ・毎月の会議や週末の振り返りを通して、幼児の実態に合わせた保育内容の検討を行った。 ・でいあシートを使った事例研修や園内公開保育を実施し、職員の質を高める事ができた。 | A | ・年間計画や地域で決める学校予算事業について職員間で話し合い、子どもの実態や学びにつながる保育内容を見直した。 | ・保育の質の向上に向けて一人一人の職員が教材研究に努めると共に園内研修や積極的な研修参加に努める。 |
| | | ② 保育内容の精選 | | | B | | |
| | | ③ 指導方法の工夫改善 | | | B | | |
| | | ④ 評価 | | | B | | |
| | (3) 園行事 | ① 指導計画の立案 | ・地域コーディネーターを中心に地域の方や保護者と連携しながら園行事に取り組む。 ・保護者や地域の方と連携を深め子ども達の豊かな経験や体験につながる内容を検討していく。 | ・昨年度を再度見直し、行事の内容について職員間で話し合いながら計画することができた。 ・地域コーディネーターや地域の方と連携し、人との関わりや地域の行事を知ることが、豊かな心を育む機会になった。 | A | ・どの行事も園児が意欲的に取り組み成長につながるものになった。 ・園外保育では地域の公園に出かけ園児が自然に興味や関心を持ち、また地域の方とも親しみをもち、自ら関わろうとしている。 | ・園行事については、今後も子どもにとって豊かな経験となるよう検証し来年度の計画を立てる。 ・指導計画の見直しや再構築を行い子どもが主体的に活動できる内容の検討に努める。 |
| | | ② 行事内容の精選 | | | A | | |
| | | | | | | | |
| | (4) 人権教育 | ① 人権教育指導計画の立案 | ・園生活の中で一人一人を大切にする保育を展開し、支え合うなかま集団づくりを目指す。 ・研修等に参加し、保育者自身の人権意識の向上を図る。 | ・友達や異年齢との遊びの中で楽しさや喜びを味わい、話し合いを通じて自分の思いや相手の思いに気付く経験ができた。 ・人権教育や仲間づくりについて、職員間で話し合いながら、取り組んだ。 | A | ・一人一人の思いや考えを大切にし、互いに認め合う集団作りに努めた。 ・日々の保育の中で自分の思いを伝える機会や友達の思いを聞く機会を大切にしたり、子どもの思いを保護者に伝えたりしながら進めることができた。 | ・学級懇談会や個人懇談の機会に園の思いや取り組みを話し啓発していきたい。 ・問題意識や人権意識をしっかりと持ち職員の力量向上を図りたい。 |
| | | ② 保育内容の精選 | | | B | | |
| | | ③ 指導方法の工夫改善 | | | B | | |
| | (5) 生徒指導 | ① 組織的な指導 | ・全職員で子どもの理解を深めるための研修を行う。 ・子どもの内面を把握すると共に問題点について話し合う機会をもち、職員間で共通認識しながら対応する。 | ・職員間で常に情報共有をすることで、臨機応変に対応できた。 ・園児の実態に合わせた指導を常に心掛け、些細なことでも家庭と連絡を取り合いながら連携を密にした。 | A | ・月1回、職員会議を行い職員間で共通理解できるよう連携を密にし、臨機応変な対応につながった。 ・保護者の立場や気持ちを考えながら保護者対応を行った。 | ・保護者から園に向けて子育ての悩みを打ち明けてもらえるように、様々な問題を全職員が共通理解し、問題解決に取り組もうとする意識をたかめていきたい。 |
| | | ② 教育相談・幼児理解 | | | A | | |
| | | ③ 家庭との連携 | | | A | | |
| | | ④ 関係諸機関との連携 | | | B | | |
| | | ⑤ いじめ・児童虐待問題について | ・対処方針や指導計画が明確である | ・週末に職員間で振り返り行う時間を確保し、情報共有するよう努めてきたことで、園全体で幼児を育てる体制づくりはできている。 ・保護者の思いを受け止めたり、保護者と積極的に連携をとったりすることで、一人一人の子どもの家庭状況や背景を把握する事ができている。 | ・一人一人の実態を把握し、友達の思いに気付けるよう指導してきた。 ・保護者と子どもの様子について連絡を取り合い臨機応変に対応できる体制が取れるようになった。 | A | ・様々な問題を職員間で共通理解し、なかま意識が育つような保育内容や教材研究を行うと共に、些細な出来事もクラス全体で話し合い、子どもの規範意識が高められるように取り組んでいく。 ・保護者にこまめに伝え連携を密にすることで、迅速に対応できるようにしていく。 |
| | | | ・日頃より実態把握・早期発見に努めている | | | B | |
| ・各学級の状況を園組織として共有できている | | | B | | | | |
| ・保護者や地域と連携できている | | | A | | | | |
| (6) 特別支援教育 | ① 推進体制 | ・個別の指導計画の立案や指導内容の工夫について各関係機関や特別支援コーディネーターとの連携を密にする。また、支援の必要な子どもの実態を共通理解するため必要に応じて会議の機会をもつ。 ・特別支援教育の研修に積極的に参加し、支援の方法を探る。 | ・支援の必要な子どもの実態把握とこれからの支援の方法を話し合い年度当初に共通理解した。 ・研修やコーディネーターからの情報を基に具体的な支援方法を明らかにし実践した。 ・保護者の思いを受け止めながら、支援方法の共有を行った。 | A | ・支援を必要とする子どもの様子や指導計画について共通理解に努めた。 ・特別支援コーディネーターと連携しながら全職員で情報交換、共通理解が出来ていた。 ・保護者の思いや幼児の実態を踏まえ、専門機関との連携がとれていた。 | ・保護者の願いを受け止めながら、個々の支援を要する幼児に適した支援計画を作成し、必要に応じて見直し改善、実施していく。 ・研修や関係機関との連携から、支援教育力の向上を図る。 ・小学校との情報交換や連携を深めていく。 | |
| | ② 個々に応じた特別支援教育の内容 | | | A | | | |
| | ③ 指導方法の工夫改善 | | | B | | | |
| | ④ 家庭との連携 | | | A | | | |
| | ⑤ 関係機関との連携 | | | A | | | |

(令和6年度)
自己評価書

| | |
|-----|--------|
| 園番号 | 園名 |
| 615 | 富雄北幼稚園 |

615富雄北幼稚園

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 具体的評価項目及び指標 | 取組と成果 | 評価 | 評価の観点・理由 | 課題及び改善方策 |
|--|-------------------|--|--|--|---|---|---|
| Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の | (1) 組織運営 | ① 園長のリーダーシップ | <ul style="list-style-type: none"> 園の教育目標の達成のための明確な方針を行う。 職員一人一人の指導力を高め、発揮できるような適正配置を行う。 職員が協力、協働、共同体で問題解決できる環境をつくり、楽しく働ける職場づくりに努める。 少ない人員でのコミュニケーションを図り、互いに協力し合う職員関係を確立する。 時間外勤務を減らし、効率の良い働き方を心がけ、モチベーションをあげる。 | <ul style="list-style-type: none"> 教育目標や教育課程における研究内容を共通理解し、保育実践の取り組みにおいて、園の教育目標を柱にした方針であったので明確に進めることができた。 全職員が気軽に話し合える雰囲気をつくり進めていったことで、職員間で同じ目標や方向に向かっていくことができた。 学校評議員、地域コーディネーター、保護者など、園関係の方々から評価をいただく事ができた。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 職員間で互いに意見を出し合いながら、協力し園運営を行ってきた。 協力する姿勢を全職員が持つことができたため、勤務時間内で達成することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 園運営に対して、全職員が参画する意識をもって高められるよう努力していく必要がある。園のビジョンや教育方針に向け、職員が互いに意見を出し合い、助け合う協力体制が大切である。そのために、職員の特性を知り、活かし、良好な人間関係を作り、意思の疎通に努める。園長は、リーダーシップをとると共に、楽しい職場づくりとチームワーク作りに努めていきたい。 |
| | | ② 園経営目標・方針 | | | | | |
| | | ③ 職員の適正配置と運営への参加意識 | | | | | |
| | | ④ 園務分掌等の連携 | | | | | |
| | | ⑤ 会議の運営と位置づけ | | | | | |
| | | ⑥ 会議の結果 | | | | | |
| | | ⑦ 職場の人間関係 | | | | | |
| | | ⑧ 園評価の実施 | | | | | |
| | (2) 研究・研修 | ① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 資質向上をめざし、園内、園外の研修の機会を積極的にもつ。 研修ノートを活用し、保育の実践や振り返りを行う。 研修内容を職員間で報告し合い、共通認識を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 研究主題を中心に園内研修をしたり、日頃の振り返りや意見交換を行い、幼児理解や指導方法の向上に努めた。 園外研修にも積極的に参加し、共通認識を行いながら、資質向上に努めた。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 公開保育や研修会では保育の課題が明確になり、特に他者の保育を見て刺激を受け反省と課題が明確になった。 研修で学んだことや意見交換したことを、職員間で共有し、幼児理解し指導方法の向上に努めた。 他園の公開保育に参加し、職員と共通理解しながら、保育実践で活かしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 園内研修及び研修内容の伝達、共有する時間を努めて確保する。 様々な指導や助言を受け、保育の質の向上に努められた経験を活かし、自ら研究に取り組めるようにしていく事や研修の機会をもつようにする。 職員一人一人が課題意識を持ち、主体的に研修に参加し、園全体の資質向上に努める。 |
| | | ② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施 | | | | | |
| ③ 園外の研修への積極的参加 | | | | | | | |
| ④ 園外研修内容の共有 | | | | | | | |
| ⑤ 研修成果の普及 | | | | | | | |
| (3) 安全管理 | ① 安全計画の立案 | <ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの確認及び再構築を行う。 安全管理マニュアルや防災計画を全職員で見直し確認し、危機管理意識を高める。 地域、保護者との連携を密にする。 | <ul style="list-style-type: none"> 安全管理マニュアル、防災計画を職員間で見直した。 毎月の避難訓練では、その時の社会事象に合わせて、訓練内容も臨機応変に変更し、より安全に避難できるよう話し合い確認した。 地域の女性防災の方と連携しながら、幼児の安全指導を行った。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 定期的な安全点検や管理を行うことができた。 避難訓練を様々な形態で行い、職員間で共通理解しながら適切に行った。 地域、保護者と連携し、避難、防災意識を高めた。 咄嗟の時の自分の役割を定期的に確認した。 | <ul style="list-style-type: none"> 全職員が常に危機管理意識を持ち、子どもの安全確保に努め、子ども自身も自分の身を守る意識できるよう指導していく。 さらに、地域・保護者と連携し意識向上につなげる。 危機管理マニュアルを職員間で見直し繰り返し確認するように努めていきたい。 | |
| | ② 防災計画の立案 | | | | | | |
| | ③ 危機管理体制の整備 | | | | | | |
| | ④ 安全指導の工夫改善 | | | | | | |
| | ⑤ 家庭との連携 | | | | | | |
| | ⑥ 関係機関との連携 | | | | | | |
| (4) 保健管理 | ① 保健計画の立案 | <ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活に必要な習慣が身につくよう日々の指導や家庭との連携を図る。 日々の健康管理や手洗い・うがい、換気、温湿度調節、衛生管理などの感染予防対策の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> 体調管理や換気等を毎日行い、一時預かり担当者とも連絡を密にした。 幼児自身が、自ら進んで取り組めるよう環境の工夫や指導を行い、保護者にも啓発した。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 換気、湿度調整など、感染症対策を行った。 子どもの体調や様子の把握に努め、子ども自身が自ら進んで取り組めるよう、感染症対策の指導を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 一人一人に応じた対応ができるように職員間の連携を密にした。 保健管理の取り組みの啓発を重ね、保護者と共に子どもの健康に留意し、心身ともにたくましい幼児の育成に取り組むたい。 | |
| | ② 心のケアや健康相談の体制の整備 | | | | | | |
| | ③ 健康観察、健康管理能力の育成 | | | | | | |
| | ④ 関係機関との連携 | | | | | | |
| | ⑤ 昼食の衛生管理 | | | | | | |
| (5) 地域との連携 | ① 園情報の発信 | <ul style="list-style-type: none"> 園の取り組み・行事・園児の様子を、クラスだより・園長だより・ホームページ等で啓発する。 地域・保幼小の連携を充実し交流を年間を通して計画する。 | <ul style="list-style-type: none"> HPや園だより、園長だより等で園児の様子や情報発信に努めた。 保幼小交流を計画的に対面で実施でき、児童・園児・教師との関わりをもち、小学校の中や取り組みを知ることができた。 | A | <ul style="list-style-type: none"> HPや園だより等で、園の取り組みをわかりやすく啓発できている。 幼小中間で交流ができるように連携を深め、計画をたて、実施に向け定期的に話し合いを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新が随時できなかったため、今後は定期的に更新できるように行っていきたい。 活動内容や子どもの様子だけでなく、園としての思いやねらいを伝えられるように、啓発内容を更に工夫し、教育理解に繋げる。 地域や保幼小との連携を密にし、子どもの豊かな経験と成長に繋がるようにする。 | |
| | ② 園(保育)公開 | | | | | | |
| | ③ 小学校との接続・連携 | | | | | | |
| | ④ こ幼保との連携 | | | | | | |
| | ⑤ P T A ・保護者会の活性化 | | | | | | |
| | ⑥ 地域教育協議会との連携 | | | | | | |
| | ⑦ 学校関係者評価の実施 | | | | | | |
| (6) 施設・設備 | ① 保育環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的な施設・遊具の点検と適切な整備を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 危険箇所は見つけ次第園長に報告し、整備したり、修繕依頼を行った。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 施設・遊具の安全点検を定期的に行い、安全を確保できた。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後も定期点検を行い、危険箇所は速やかに整備し、修理不可能な箇所は市に連絡し修繕依頼する。 | |
| | ② 施設設備の有効利用 | | | | | | |
| | ③ 施設設備の管理 | | | | | | |
| (7) 情報管理 | ① 公文書の收受・保管 | <ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取り扱いに留意して、鍵のかかる書庫に管理したり、使用記録簿に記入したりしてデータの管理・保護に十分留意する。 | <ul style="list-style-type: none"> 個人情報については書庫で徹底した管理を行った。 個人情報の取り扱いについては記録された文書、データなどを園外に出さないことを職員間で徹底することができた。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 書庫は鍵をかけ、管理の徹底を行った。定期的に管理方法を確認し合い、習慣として身につけてきている。 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的に共通理解を行い、全職員が責任を持ち、個人情報・データの管理意識を徹底していく。 | |
| | ② 公文書の作成 | | | | | | |
| | ③ 個人情報の管理・保護 | | | | | | |
| | ④ 情報の収集 | | | | | | |
| | ⑤ 電子媒体の管理 | | | | | | |